

凍結防止についてのご案内

前略 弊社製品につきまして、格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。
さて、寒さも増し凍結が心配される季節が近づいて参りました。
下記事項にご注意の上、処置していただくようお願い申し上げます。 草々

= 記 =

1. 吸引機、吸引車

1-1. ポンプ(ブロウ・スパイラルポンプ)凍結のご注意 (NM・NS・NSR車を除く)

1)凍結防止対策

- ① 一日の作業終了後、必ず各キャッチャー及び、ポンプの水抜きを行った後、ポンプのドレンバルブを「開」にして空運転を5～10分行ってください。(エンジン回転 約1000rpm)
- ② 空運転しても凍結するようであれば、空運転後インペラ給油口より不凍液を適宜吸引させてください。(不凍液濃度は気温により、2～4倍に適宜薄めてください。)
- ③ 極寒地区で移動中に水が凍るようであれば、3・4次キャッチャーに不凍液を使用してください。

2)凍結した場合

「スチーム」または「お湯」で完全に氷を溶かした後、ポンプを回してください。(冷却水ラインの凍結にもご注意ください。)

3)ポンプ始動時のご注意

必ず、アイドリングでゆっくりクラッチをつないでください。凍結したままで急激につなぐと、ポンプのタイミングがずれ故障する可能性があり、修理には時間がかかります。また、吸引作業中でも冷却水が流れていることを必ず確認してください。(冷却水ラインの凍結にもご注意ください。)

1-2. バルブ凍結割れのご注意

水抜き後、バルブの開度を、約「45°」にしてください。(全開、全閉でもバルブ割れの原因となります。)

1-3. 水ポンプ付の機種について

水ポンプ下部のピーコック(ドレンバルブ)より十分に水抜きを行ってください。
水抜き後、空運転を行い、水ポンプ内の水を完全に抜き、水ポンプを停止してください。

1-4. プランジャーポンプ付の機種について

- ① 各ドレンバルブより十分に水抜きを行ってください。
- ② 洗浄ホース凍結防止のため、作業終了後ホースを取りはずすか、ホース内に不凍液を通してください。

2. 洗浄車

2-1. プランジャーポンプ凍結のご注意

1) 一日の作業終了後、必ず各ドレンバルブを開け、水タンク、プランジャーポンプ、配管内の水抜きを行ってください。また、コンプレッサー等の設備がある場合は、プランジャーポンプヘッド部カプラよりエアを入れ、ホース内の水抜きを行ってください。(詳細は、取扱説明書を参照願います。)

2) プランジャーポンプヘッドの水抜きを行ってください。(下記ポンプ型式参照)

- | | | |
|--------------------|----------|------------------------|
| ① ヴォーマ(WOMA) | J◇-◇◇W型 | } 下記取扱上の注意事項を参照してください。 |
| サカビ(SACAVI) | J◇-◇◇SA型 | |
| スギノ | J◇-◇◇S型 | |
| スギノ(超高2段切換) | J◇-◇◇SS型 | |
| ② マイヤー(MYER) | J◇-◇◇M型 | |
| ハイドロバイド(HYDROVIDE) | J◇-◇◇H型 | |

ヘッド下側のエア抜きバルブを開けた後、棒を下から差し込み、内部の吸い込みバルブを押し上げ、水抜きを行ってください。

2-2. バルブ凍結割れのご注意

水抜き後、ドレンバルブ、プランジャーポンプのバルブは開度を、約「45°」にしてください。(全開、全閉でもバルブ割れの原因となります。)

取扱上の注意事項

- ① 基本的にプランジャーポンプの空運転は行わないで下さい。ポンプ故障の原因となります。
- ② ポンプヘッド内の残水を抜く場合に限り、空運転を行って下さい。空運転は、エンジン回転をアイドリング状態、吐出圧力は無圧の状態で行ってください。ただし、5秒間以上の空運転は絶対に行わないでください。

【お問い合わせ先】

東北・北海道支店	Tel:(022)248-2991	中四国支店	Tel:(082)426-2131
札幌営業所	Tel:(011)893-0861	四国営業所	Tel:(088)845-5511
東東京支店・西東京支店	Tel:(03)3667-7330	福岡支店	Tel:(092)761-7761
名古屋支店	Tel:(052)902-5538	技術サービス部	Tel:(088)845-5511
大阪支店	Tel:(072)653-1136	品質保証部	Tel:(088)820-2900